

# お知らせ

## 四月例会

- ・期日 立教181年4月25日
- ・時間 15時30分受付、16時開始
- ・場所 教庁4階講堂

## 学生層育成者講習会

### 日程・会場案内

- 【教区】
  - ・愛知 4月30日12時15分〜 教務支庁
  - 【直属】
    - ・河原町 4月14日18時45分〜 大教会
    - ・朝倉 4月15日12時〜 大教会
    - ・南阿 4月19日13時30分〜 詰所
    - ・櫻井 4月24日12時〜 大教会

# 報告

## 二月例会

去る2月25日、教庁4階講堂に於いて「二月例会」を開催。出席は44教区、126直属。

## 各地の動き

- 【教区学生層育成者講習会】
  - ・大分 2月2日 教務支庁 50名

松村委員長 出向

・香川	2月11日	教務支庁	34名
・和歌山	2月27日	福江副委員長出向	
・松阪	2月20日	大教会	105名
・栗太	2月20日	分教会	90名
・笠岡	2月21日	大教会	212名
・双名島	2月22日	大教会	80名
・越乃國	2月23日	大教会	100名
・鐸姫	2月23日	分教会	45名
・中和	2月24日	大教会	300名
・明城	2月24日	大教会	100名
・東神田	2月24日	大教会	94名
・生野	2月25日	詰所	97名
・豊田	2月27日	豊田委員出向	
・宮田	2月20日	宮田委員出向	
・富松	2月20日	富松委員出向	
・中山	2月21日	中山祥吉委員出向	
・茶谷	2月22日	茶谷委員長出向	
・柏原	2月23日	柏原委員出向	
・旭	2月23日	旭委員出向	
・清水	2月24日	清水委員出向	
・福江	2月24日	福江副委員長出向	
・松村	2月24日	松村委員長出向	
・駒谷	2月25日	駒谷委員出向	

## 業務記録

- 《立教181年2月16日〜立教181年3月15日》
- 2月16日 まなびばチーム会議
- 22日 『Happist』納品
- 25日 『Happist』梱包
- 委員会
- 例会
- 広報室会議
- まなびば研修会
- スタッフ直前研修会
- 出版部部会
- 26日 まなびば研修会（〜27日）
- 27日 春の学生おちばがえり
- 3月1日 プロジェクトチーム会議
- 3月1日 学修大学の部
- 3日 スタッフ直前研修会（〜2日）
- 3日 学修大学の部（〜9日）
- 9日 学修高校卒業生コース
- 10日 スタッフ直前研修会（〜10日）
- 10日 学修高校卒業生コース（〜12日）
- 13日 委員会
- 13日 まなびばチーム会議
- 13日 勉強会チーム会議
- 14日 学修高校の部研究室会議
- 14日 春の学生おちばがえり
- 15日 プロジェクトチーム会議
- 15日 出版部部会

# 学生担当者報 Vol.374

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/松村孝吉 編集責任者/福江弘一  
 [TEL]0743-63-1511 (内線 5817) (直通)0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780  
 [E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website] http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教181年  
平成30年3月25日発行

# GO ON THANKS



「ご恩」  
火・水・風  
が平成三十年  
度高校生の集  
い「まなびば」

のテーマである。また、二月には参考プログラムの研修会無事開催した。「火水風の守護を受けて物みな育つ恵みあり。我らは神の御恵みを受けて」と歌にもなっているように、親神様の絶大なる火水風の守護を受けて万物が育ち、私たちも日夜生かされているのであり、親神様から受けているこのご恩を高校生に感じてもらおうことが参考プログラムのねらいである。この巻頭言を通じてこの度の「まなびば」の魅力を紹介し、教区での開催の後押しとしたい。

このプログラムは四つのグループタイム（GT）で構成されている。GT①「飼育に役立つ研修会」では、屋外のアクティビティーを通して参加者の緊張をほぐし、心がより開放的になるので仲良くなりやすいという、屋外の利点を最大限に活かす、

仲間意識を高める。GT②「パンピンドル」では、一つの課題達成に向けて一人ひとりが果たす役割に焦点を当てて参加者の協調性を養うとともに、情報カードを利用したエクササイズ特有の世界観に馴染めない学生もいるため二段構えの形式を用い、プラスαの工夫を施すことによりグループの凝集性を高める。GT③が終わる頃にはグループ内での参加者同士の距離が一気に縮まり、ある程度の信頼関係も築かれているので、お互いに思っていること、感じていることを伝えてみようという雰囲気作りができあがる。更には、お道の教えを聞き入れるための心の準備も整う。

GT③「プレゼンTO」では、いよいよ本題である親神様のご恩に触れる時間となる。自分たちの周りに存在するありとあらゆる物が火水風のお働きと直結していることを感じ、プレゼンテーションを通してその理解を深める。また、おはなしを聴いて火水風のお働きを親神様のご恩と

## 人材育成部 委員

### 村田 薫

受け止め、心に治める。最後に、GT④「Go on thanks」では、お互いの思いや学んだことが文字となつて綴られ、日常生活へ戻る際のお土産となり、実践へ繋がるきっかけともなる。

以上が各GTについての紹介であるが、プログラム全体を通してその時々々の時代背景や高校生の様子に応じてきめ細やかな工夫が施されているので参加者の心に響くものがあるのだと感じる。

春の大祭で真柱様は「をやの思いが分かり、その思召を実現すべく立ち働く、もっと多くのよふほくを育て、増やすことが必要であります」とお話しくださったが、お道に繋がる高校生が「次代を担うようほくへ」と確実に育つために、「まなびば」の開催を通して全力で育成、丹精に努めさせていただきます。

立教181年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

立教百八十一年  
学生生徒修養会 大学の部 開催報告

「感じようー！ 表すようー！ 陽気ぐらし」

東筋の桜が咲き始めた三月三日、本年も「学生生徒修養会 大学の部」が「感じようー！ 表すようー！ 陽気ぐらし」のテーマのもとに開催された。今年は何七七名の大学生が受講し、二百五十九名のスタッフが世話取りと運営にあたり、受講生は共に語り合い、励まし合いながら、教祖の御心に包まれ、おぢばでの一週間を過ごした。

受講生は受講三回目以上または二回目の四年生が「みのり塾」、二回目が「つなぎ塾」、初回者が「よふき塾」「まこと塾」「いさみ塾」という五塾に別れて合宿生活を送った。

初日、緊張と期待の中、お引き寄せいただいた道の学生同士が各塾で出会い、全ての受講生が集合して開講式を行った。その後、ゲームラリーなどのプログラムを通して、同じ班の学生やカウンセラー、塾スタッフと交流を深めた。

二日目、受講回数や学年の違いによる特性に合わせて塾別講義をいただいた。よふき塾、まこと塾、いさみ塾の初回者三塾は「お道のすばらしさ」陽気ぐらしの実践、つなぎ塾は「おさづけ」、みのり塾は「おつとめ」が講義のテーマであった。また、二日目と三日目の午後には修練があり、てをどり、鳴物、祭儀式の

中から希望しその習得に励んだ。

三日目、四つのテーマの講義から一つを選び、各分野において活躍されている講師陣のおたすけ話に聞き入った。さらに、「婦人会の時間」と「青年会の時間」では男女が分かれて、それぞれの徳分や役割について学び、ふりかえりの時間を持った。

四日目、みのり塾は午前中に、いがけの演習、講話の聴講、戸別訪問の準備を行い、午後からは奈良の各地で戸別訪問を中心とした、いがけに励み、夜はおつとめ衣の着付け練習を行った。その他の塾は午前中別席を運び、廻廊ひのき、しんを行い、午後からは翌日の、いがけに向けて演習を行い、にをいがけ講話を聴き、仲間と共に励まし合いながら路傍講演の原稿作成や練習に取り組んだ。

五日目、受講生達はいがけへの不安を抱きつつ、松村委員長より激励の言葉をもらい、御存命の教祖のお伴をさせていただくことを誓い合って、勇気を持ってそれぞれの布教地へと出発した。つなぎ塾は奈良、初回者三塾は大阪においてこの御教えをたくさんの人に伝えたい！と路傍講演、神名流し、リーフレット配りを仲間と共につとめ、夕方おぢばに帰った。みのり塾は午前中廻廊拭きひのき、しんを行い、午後からは受講生とスタッフ一同、おつとめ衣を着用し、学修後も教会につながり、おつとめ

をはじめ様々なご用を担えるよう、よくとなれるよう、おつとめまなびを厳かに一手一つにつとめた。

六日目の午前中、本部長 松村義司先生より講話をいただいた。先生は自らの生い立ちを通して、親々のご恩を感じられたことをお話しください、「ようほくの三信条」、そして小さい時からそれを体得させるための「天理教少年会員のちかい」の角目を基に、陽気ぐらし世界の実現に向かう通り方、思案の置き所を聞かせていただいた。午後からは感話大会が行われ、各弁士の信仰への篤い思いに耳を傾けた。

最終日、閉講式において表統領 中田善亮先生は「おぢばで開催されるから意義のある学修となっている。理屈を勉強するための信仰ではなく、信仰は暮らしの中で活かしていくもの」とおぢばと信仰についてお話しになり、「求道を志し、親神様、教祖の所に行かせてもらう思いで、つながる教会に足を運んでもらいたいこと」を期待なされ、一同に修了証書を授与くださった。

この度の学修で受講生たちは陽気ぐらしを感じ、そして、陽気ぐらしを表す一週間を過ごした。陽気ぐらし世界の実現に向け、誠の心で、学生と共に育ち、お道の将来を担う人材の育成に努めていきたい。

学生担当者報

学生生徒修養会 大学の部

カウンセラー感想文

今回、初めて「学生生徒修養会 大学の部」に、カウンセラーとして参加させていただきました。おぢばのありがたさ、信仰の喜びに初心に帰って触れさせていただける、ご褒美のような時間でした。

初日の受講生の不安そうな笑顔や落ち着かない様子をみて、「どうしても喜んで、楽しんで帰ってもらいたい」と誓いました。時を重ねるごとに、おぢばの空気の中で、受講生一人ひとりの心がほぐれ、表情が変わっていくのを感じました。気を使いながらだった笑顔が、柔らかな素直な笑顔や、人のことを想う心を配った笑顔へと変わっていきました。たった一週間の中で、ぐんぐんと前進する姿を同じ輪の中で感じさせていただき、心が洗われる思いでした。

共同生活を送る中で、しんどい思いをする受講生もいましたが、班員同士で支えあ

い、受け止め、団結していく姿をみて、陽気ぐらしの渦が大きくなっていくことを実感しました。お道の教えを芯に支えあっている姿を目の前にし、受講生から私自身が忘れかけていた信仰の喜びを新鮮に感じさせていただきました。また、カウンセラー

という立場で、寄り添い見つめる生活を通して、人のことを想い続けて歩むことの楽しさや、喜びに触れさせていただきました。にをいがけでは、準備の段階から不安と緊張に押しつぶされそうでしたが、教祖のお伴をさせていただくことの安心感を徐々に感じていく姿に胸を打たれました。街中に立つと緊張で泣き出す姿、その仲間を励ます姿が印象的でした。仲間とともに、大きな声で心の声や信仰を伝え、路傍講演が

終わると喜びの涙と、歓喜の笑顔に包まれました。道行く人は、笑顔で会釈してくださる方が多くいてくださり、教祖が先回り

して、温かい親心で見守ってくださるのだと実感しました。

出会った仲間と共に、教えを学び、陽気ぐらしを実践しながら通らせていただきました。

本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。



学生生徒修養会 大学の部

受講生感想文

まわりの方々に喜んでいただけるような通り方を自分からできるようにしていきたいです。また、素直な心で喜び勇んで通りたいです。自分の役割を自覚し、女性の徳分を活かしていきたいです。まずはいつでも笑顔での受け答えを意識することからはじめます。

(まこと塾 大学生 女)

「朝起き・正直・働き」を実践していききたいと思えます。朝は早く起きて、神様のお恵みであるお日さまのご守護をしっかりと感じさせていただき、朝づとめにも参拝します。また、正直な心で回りの人が嫌な思いをしないように気を付けて、親孝行をするために家事を手伝ったりして、親に喜んでもらえるように頑張ります。

(まこと塾 短大生 女)

日々を全力で勇むことの大切さ、沢山の人々に支えられていることに感謝すること、人に伝える事によって自分自身も、お道のことを知ることができたと思えます。また、初めてにいがけをさせていただき、当初は不安と緊張でいっぱいでしたが、学修中にできた大切な仲間とともに成し遂げることができました。

(いさみ塾 大学生 男)

喜びを感じられるスイッチみたいなものを得ることができたと思えました。学修に来る前は不足ばかりで全然喜んでいなかったし、親孝行もできていなかったけど、班員のお話やみんなの姿から、いろいろな刺激をうけることができたので素直な心を忘れずに自分のできる陽気ぐらしをしていきたいと思えました。

(いさみ塾 大学生 女)

学生担当者報

今の自分に足りないもの、本当に大切なものを見つめ直すことができ、自分の長所を人から、新たに引き出してもらえました。普段の生活では当たり前と感じてしまうことが、心から喜ぶことができるようになりました。自分にはないステキな部分を持った沢山の仲間であうことができたのもご守護だと思えました。

(みのり塾 大学生 女)

親々の信仰のありがたさ、日々のにいがけを実践することの大切さ、勇んでおつとめをしたら、さらに心が勇むということ、若い力の勢いを学びました。また、仲間と共に学修を通る中で一歩をお道歩む仲間がさらに増えました。

(みのり塾 大学生 女)

テーマにあるように、陽気ぐらしを身近に感じられた一週間でした。陽気ぐらしが遠く

て、大きなイメージだったのが、実践することで感じ方が変化しました。また、にいがけに少し苦手な意識があったが勇んだ気持ちでさせていただき、陽気ぐらしを表すことができ、楽しくつとめることができました。

(よふき塾 大学生 男)

一人暮らしをしているため普段の生活では神様を意識することは少なかったのですが、今回の学修で、一週間、おつとめから始まり、講話を聞いたり、にいがけなどをする中で、常に神様について考えることができて良かったです。只々、友達と話したり、遊んだりして楽しかったというだけでなく、より深い学びになったと感じました。

(つなぎ塾 大学生 男)

大学の部 受講生データ

●保護者の立場別

Table with 4 columns: Role, Male, Female, Total. Rows include Church leader, Pastor, Younger, Believer, Non-believer, Other.

●本人の立場

Table with 4 columns: Role, Male, Female, Total. Rows include Younger, Part-time, Other.

※直属別集計はp6~7に掲載しております。

立教181年 学生生徒修養会

修了者数 477名

男子 269名 (56%)
女子 208名 (44%)

●学校別/参加回数別

Table with 4 columns: School/Count, Male, Female, Total. Rows include Tenri University, Other, 2nd time or more, First time.

●別席者集計

Table with 4 columns: Seat, Male, Female, Total. Rows include First seat, Middle/Full seat, Total.

立教181年 学生生徒修養会 大学の部 直属別データ

※受講生データはP5に掲載しています。

番号	直属	男	女	合計
0	本部	2	2	4
1	郡山	2	1	3
2	兵神	5	5	10
3	山名	1	2	3
4	船場	2	3	5
5	河原町	9	8	17
6	撫養	0	1	1
8	敷島	14	9	23
9	日本橋	1	0	1
10	高安	6	3	9
11	南海	1	0	1
12	芦津	2	1	3
13	高知	6	3	9
14	北	6	1	7
15	湖東	1	4	5
16	甲賀	6	0	6
17	水口	1	0	1
18	中河	6	4	10
19	名京	0	2	2
20	中和	4	3	7
21	櫻井	3	5	8
22	筑紫	2	1	3
23	越乃國	3	0	3
24	名東	1	1	2
26	日光	2	1	3
27	飾東	3	3	6
28	東本	5	7	12
29	嶽東	3	3	6
30	島ヶ原	0	2	2
31	堺	0	1	1
32	御津	2	1	3
33	城法	6	4	10
34	生野	0	1	1
35	東愛	3	3	6
36	本島	1	3	4
37	牛込	2	0	2
38	深川	2	2	4

番号	直属	男	女	合計
39	浅草	0	1	1
41	大縣	4	0	4
43	神川	1	1	2
44	笠岡	5	3	8
45	西宮	3	1	4
47	明城	2	0	2
48	大江	3	3	6
49	旭日	0	1	1
50	池田	4	1	5
52	蒲生	2	2	4
53	日野	0	1	1
54	朝倉	3	1	4
55	佐野原	0	1	1
56	高岡	2	1	3
57	愛知	1	1	2
58	梅谷	1	2	3
59	平安	1	0	1
60	豊岡	1	2	3
61	治道	1	2	3
63	川之江	0	2	2
64	周東	2	1	3
65	南阿	2	2	4
66	香川	2	3	5
67	中紀	0	3	3
68	津	1	0	1
69	秩父	0	1	1
70	中津	1	0	1
71	岐美	2	3	5
73	那美岐	0	1	1
74	中野	1	0	1
75	秦野	1	2	3
77	中央	0	1	1
78	南紀	3	0	3
79	北陸	0	1	1
80	東濃	0	1	1
81	岡	2	4	6
82	八木	1	1	2

※受講生のいない直属分教会は掲載しておりません。

番号	直属	男	女	合計
83	洲本	0	1	1
84	錦江	0	2	2
86	大森町	3	1	4
87	防府	1	0	1
90	阿羽	1	1	2
91	伊野	1	0	1
93	西海	4	2	6
94	新潟	0	1	1
96	肥長	1	0	1
97	名古屋	4	0	4
98	奈良	1	0	1
100	上之郷	2	2	4
102	小牧	1	2	3
103	府内	0	1	1
104	東肥	0	3	3
105	都	2	0	2
106	西成	1	1	2
107	南	2	1	3
108	山陰	1	1	2
110	此花	5	1	6
112	東海	3	0	3
113	大鳥	0	1	1
116	甲府	1	1	2
118	本愛	2	0	2
119	本芝	3	1	4
121	京城	1	2	3
122	東神田	4	3	7
123	北洋	1	0	1
124	宇佐	1	2	3
126	泉	1	0	1
127	東中央	1	1	2
128	城山	1	0	1
129	静岡	1	0	1
130	白羽	0	1	1
131	伊那	0	1	1
132	小南部	1	2	3
133	雨龍	1	1	2

番号	直属	男	女	合計
134	愛静	1	1	2
135	紀陽	1	0	1
138	生駒	1	4	5
140	高松	2	2	4
141	五條	1	1	2
143	網干	1	1	2
144	宇仁	1	0	1
145	双名島	3	2	5
146	夕張	1	0	1
147	山陽	0	1	1
149	国名	1	1	2
150	玉島	1	3	4
152	松阪	4	1	5
153	越知	1	0	1
154	本理世	15	6	21
155	加古	1	0	1
156	秋津	1	0	1
157	幅下	2	3	5
159	大原	1	0	1
502	尾道	1	0	1
503	淀	2	1	3
508	琵琶	2	0	2
509	網島	1	0	1
510	鐸姫	0	1	1
511	上町	1	0	1
514	豊繁	1	0	1
515	名張	1	0	1
517	天元	1	0	1
527	本明貴	1	1	2
546	やまとよふき	0	2	2
555	大阪	0	1	1
556	青森縣	1	0	1
565	日向司	1	0	1
総計		269	208	477

立教百八十一年 学生生徒修養会  
高校卒業生コース 開催報告

学生生徒修養会 高校卒業生コースが、三月十日から十二日、おちばにおいて開催された。今年で四回目となる本コースは、高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進む大切な時期に、親神様の御教え、教祖のひなごたを学び、親神様、教祖はもとより親やこれまで自分を支えてくださった方々への感謝の気持ちを確かめ合い、同世代の道の仲間とのつながりも深められるよう、企画されたコースである。卒業後、彼等彼女等がどのような環境においても、おちば、教会につながり、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう、受講生四〇四名とともにスタッフ百五十七名が四つの組に別れて、三日間を過ごした。

初日、受講生はそれぞれの組で受付を済ませた後、一堂に会して開講式を行い、午後からはグループタイムを通して、これまでの人生を振り返り、お互いのことを知り合う時間を過ごした。

二日目は、自分の周囲や過去を振り返り、多くの人に支えられてきたことに気づくことをねらいとしたグループタイムを行った上で、

「親神様のご守護」と題して一筋分教会長西村和久先生よりご講話をいただいた。先生は「私たちはなぜ信仰するのか」ということを、かしまの・かりもの、八つのほこり、火水風のご守護の基本教理をもとに聞かせてくださり、当たり前ではなく、感謝を捧げる日々を過ごすことの大切さをお話しいただいた。その後、講話ふりかえりの時間を持ち、それぞれが感じる親神様のご守護について語り合った。午後からの組別行事では、お楽しみ要素を盛り込んだプログラムを行い、和やかな雰囲気の中で班員以外の仲間とも親睦を深めた。班タイムと称した、班独自の時間では、天理市内でいがいけを行う班、神殿のトイレ掃除をする班、お互いの思いを更に深め合うエクササイズを行う班など、それぞれの班の状況に応じて有意義に過ごした。夜には電池式ランタンを囲み、淡い光の中で、自分の信仰と夢を語る班内感話を行った。親や教会長さんなど、今まで育ててくれた方々に教えてもらったことや言葉を思い起こし、今の自分の正直な気持ちを語り、班員の話を皆が真剣に聞き入った。それまであまり自らの話をしなかつた者も語り出し、自らの思いを涙ながらに話す者など、より一層お互いを尊重し合う時間となった。

最終日には、主任より「明日の君たちへ」と題した講話を聞いた後、講話を振り返るとともに、この三日間で学んだことを再確認した。そしてこの御教えを基に、この先自らがどう歩んで行くのか決意したことをシートに書き記し、封筒に入れて持ち帰った。これは、それぞれが新生活をスタートする頃、開封してシートを読み返すことで、おちばで学んだことや気づいたことを思い起こしてもらったための自分への宝物である。そして、閉講式を迎え、表統領 中田善亮先生からは、「お道の教えは親子の教えであり、その中でもかしまの・かりもの、の教えが大切である。私たちは親神様から大きなご恩をいただいている。親神様の思いに添えるよう努力し日々を暮らすことで、親神様にお喜びいただくことができ、これが何よりのご恩報じとなる。日々の生活をこなすだけではなく、成人の道志し、人のことが見えるよう、よくになってもらいたい」とお話しください、一同は真剣な面持ちで修了証書を頂戴した。

二泊三日のスケジュールを、高校卒業生は皆、積極的な姿勢で受講し、無事に本コースが開催できたことをここに報告する。

学生生徒修養会 高校卒業生コース

受講生感想文

三日間本当にお世話になりました。影で支えて下さって楽しませていただきました。本当に良いお話ばかり聞けて学修に連れて、この班にお引き寄せいただき幸せです。また、おちばで会いたいです。

(女子受講生)

自分の信仰が百八十度変わりました。どんなことでも喜びを見つけられる通り方をしようと思います。

(男子受講生)

人と人との繋がりがであったり、人を知る事や、考えたりする事、徳の積み方、ありがたいと思えること、親の大切さなど、とても重要なことを経験できたとても良い三日間でした。

(男子受講生)

このお道の教えの素晴らしさを未信者の友達とか色々な人に伝えていきたいと強く感じ、天理教を通して繋がる人達のあたたかさ、素晴らしさ、神様からいただいたたつたひとつの心の使い方が大切だと学びました。

(女子受講生)

お道に繋がる学生が同学年だけで四百人以上もいることが嬉しく、また、みんながひとつひとつのプログラムを純粹に真剣に聞いていて、改めてお道の、天理教の素晴らしさを再確認できました。

(女子受講生)



立教181年 学生生徒修養会 高校卒業生コース 受講生データ

修了者数 404名

男子 182名 (45%)  
女子 222名 (55%)

●在学

天理高校 I 部	81
天理高校 II 部	15
教校学園高校	89
その他高校	219

●本人立場

ようばく	246
運び中	128
その他	30

●保護者の立場

教会長(後継者)	208
布教所長(後継者)	24
ようばく・教人	132
信者	21
その他	19

立教181年 学生生徒修養会 高校卒業生コース 直属別データ

※受講生データはP9に掲載しています。

番号	直属	男	女	合計
0	本部	1	7	8
1	郡山	6	3	9
2	兵神	3	7	10
3	山名	1	4	5
4	船場	3	2	5
5	河原町	8	4	12
6	撫養	2	1	3
7	東	0	1	1
8	敷島	4	11	15
9	日本橋	3	3	6
10	高安	8	5	13
11	南海	1	4	5
12	芦津	3	5	8
13	高知	4	5	9
14	北	2	2	4
15	湖東	0	2	2
16	甲賀	0	2	2
18	中河	6	7	13
20	中和	5	0	5
21	櫻井	1	2	3
22	筑紫	0	2	2
23	越乃國	1	4	5
24	名東	5	1	6
27	飾東	1	1	2
28	東本	4	3	7
29	嶽東	0	3	3
30	島ヶ原	2	4	6
32	御津	1	0	1
33	城法	1	3	4
34	生野	0	2	2
35	東愛	1	4	5

番号	直属	男	女	合計
36	本島	2	3	5
37	牛込	3	2	5
38	深川	0	1	1
40	西陣	2	2	4
41	大縣	2	3	5
43	神川	0	1	1
44	笠岡	0	3	3
45	西宮	3	1	4
46	明和	0	2	2
47	明城	0	1	1
48	大江	1	0	1
49	旭日	3	2	5
50	池田	1	2	3
53	日野	2	1	3
54	朝倉	1	2	3
55	佐野原	0	2	2
57	愛知	1	3	4
58	梅谷	0	1	1
60	豊岡	0	1	1
61	治道	0	1	1
65	南阿	2	1	3
66	香川	3	4	7
67	中紀	0	1	1
69	秩父	1	2	3
71	岐美	1	1	2
72	熊本	0	1	1
73	那美岐	1	1	2
74	中野	3	3	6
75	秦野	0	1	1
76	立野堀	0	1	1
77	中央	1	0	1

※受講生のいない直属分教会は掲載しておりません。

番号	直属	男	女	合計
78	南紀	3	2	5
79	北陸	2	0	2
80	東濃	1	1	2
81	岡	3	7	10
82	八木	2	1	3
83	洲本	0	1	1
86	大森町	1	1	2
87	防府	3	5	8
89	津軽	0	1	1
92	磐城平	0	1	1
93	西海	2	6	8
94	新潟	1	0	1
95	中根	0	1	1
96	肥長	0	1	1
97	名古屋	1	1	2
99	西	1	0	1
100	上之郷	0	1	1
102	小牧	1	0	1
104	東肥	0	1	1
105	都	1	1	2
106	西成	1	1	2
107	南	2	1	3
109	鹿島	0	2	2
110	此花	3	1	4
111	仙臺	2	0	2
112	東海	0	1	1
113	大鳥	0	1	1
115	神崎	1	4	5
116	甲府	3	0	3
118	本愛	0	2	2
119	本芝	1	0	1

番号	直属	男	女	合計
120	山國	2	1	3
122	東神田	2	1	3
123	北洋	1	0	1
125	岡山	0	1	1
126	泉	3	0	3
134	愛静	1	0	1
136	大垣	1	0	1
137	鎮西	1	1	2
138	生駒	4	2	6
139	中背	2	0	2
140	高松	1	2	3
141	五條	0	2	2
143	網干	1	1	2
147	山陽	2	1	3
150	玉島	4	3	7
152	松阪	1	0	1
153	越知	1	0	1
154	本理世	2	0	2
155	加古	1	1	2
157	幅下	2	0	2
502	尾道	0	1	1
509	網島	1	1	2
511	上町	0	1	1
518	浪華	1	1	2
546	やまとよふき	1	0	1
549	大和御幸	0	1	1
557	上野前橋	1	1	2
559	和歌山縣	1	1	2
総計		182	222	404

# 平成三十年度 まなびば研修会 開催報告

二月二十六日から二十七日の二日間、第十二母屋を会場に「まなびば研修会」を開催しました。二十七教区に加え、海外部からの参加を含め、七十四名が参加しました。

平成三十年度まなびば参考プログラムでは、「ご恩 く火・水・風」というテーマをもとに、高校生一人ひとりに「火・水・風」のご守護を身近に感じてもらい、そのご守護がご恩であると感じてもらえるようにと思いを込めています。研修会では、実際に高校生が受けるプログラムを体験し、各教区で開催するための進め方説明を行いました。

初日のグループタイム（以下GTと表記）①では、「飼育に役立つ研修会」を行いました。「飼育に役立つ研修会」は屋外での要素を多く含んでおり、自然のものを使いながら、動物園の新人飼育員という設定のもと、協力しながら課題を達成していきます。ウォーミ

ングアップを兼ねているので、メンバーの心と体をほぐすと同時に、メンバー間の交流につながりました。

GT②「パンピンビル」は、新作の情報紙となっており、新たな方式を取り入れていきます。従来の場合、一人ひとりに配られた異なる情報を元に正解を導き出していくものですが、今回は第一の課題達成後にさらに第二の課題が追加され、トークやアクションといった指令をクリアすることで、新たな情報が入り、最終的な課題達成を目指します。メンバー全員で協力し、役割を果たすことで、メンバー間の親睦が深まりました。

二日目のGT③「プレゼンto」では、「火・水・風」についてプレゼンテーションを行います。班内でペアになり「火・水・風」のいずれかを担当し、そのご守護がどういったものであるか、どこにあるのか、などテーマご

とに発表していき、ご守護についての理解を深めました。

また、その後の「おはなし」では「火・水・風」のお働きが親神様のご守護であることを伝え、「火・水・風」のご守護に対するご恩を感じてもらえるよう導きました。

GT④「Go on thanks」では、プログラムの最後に感謝の言葉を文字にして贈り贈られることで、人に対する思いやりの気持ちを養い、「Thanks シート」を目に見えるお土産とし、後々の気付き、勇みの種とします。また、まなびばで学んだことを日常生活でいか

最後に閉講式で担当者活動部 葛西直己部長より「一人でも多く高校生に参加してもらえよう、共々に頑張らせていただきますよ」との挨拶があり、研修会は幕を閉じました。

## 直属担当者勉強会のご案内

日々は、学生層育成の上に変わらぬご丹精をいただき、誠にありがとうございます。さて、来る5月25日は、例会に先立ち「直属担当者勉強会」を下記の通り開催します。教務ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 記

- 期 日 : 5月25日 (金)
- 時 間 : 13時～15時45分 (12時30分より受付) ※16時より例会 (38母屋9階)
- 会 場 : 第38母屋
- 対 象 : 直属学生担当委員長、他2名 (各直属、計3名)  
※委員長欠席の場合は、代理可
- 内 容 : 学修について、体験発表他
- 申 込 : 参加申込票を4月25日 (火) までにご提出ください  
※FAX可 (0743-62-5780)

### 青空

学生担当委員会、私は一切、何をする所か知らないままやってきました。違う文化、知らない環境の中で、大変なこともありましたが、学担での一年間は、すごくありがたいことばかりです。学生やスタッフ、誰かのために頑張っている皆さんの姿から、誰かのため

に何かをするのが楽しくて嬉しいことであると感じさせてもらいました。そして、自分自身もそばにいる様々な人にいつも支えてもらっているのに気付く、そのことを考えるだけで涙が出るぐらい感謝しています。学担での最後の時が近づくと、辛かったことも大変だったことも私の宝物になっていると感じます。何もない平和な環境の中では成長できなかったと思えば、辛いことからこそ感謝できることだと思ふようになりました。まもなく私は国に帰りますが、おちばの思い出、学んだことを忘れずに今後、私がいる場で伝えていきます。ある日おちばから吹いて来た風は忘れられない瞬間でした。

庶務会計部局員 崔 輔 岡

## 「まなびば」開催会場一覧 《4月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
兵庫※1	4月7日13時～8日15時	天理教船神分教会	北中	
北海道※2	4月21日14時～22日14時	教務支庁	大友	
島根	4月21日16時～22日16時	教務支庁	足立	

※1 阪神ブロック ※2 全道 ☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

## 第55期天理教学生会委員総会開催要項

日頃は学生会・学生活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。この度、道につながる学生が全国の仲間とのつながりを感じ、共に成人していくために委員総会を開催させていただきます。活動方針の議決、講話、練り合いなどの時間を通して、道の学生の一手一つを目指します。

何卒貴教区・直属の学生リーダーやスタッフにお声がけいただきますよう、よろしくお祈りいたします。

**趣 旨** 教区・直属学生リーダーがおぢばに帰り集い、学生活動の思いを心に治める。その中で、仲間の存在を感じ、日々活動できることへの感謝と喜びを味わう。そして、今回の委員総会で決定する活動方針に心をそろえて、これから一手一つに大人の道を歩んでいくことを誓い合う場とする。

**日 程** 5月4日(金)10時集合 5月6日(日)16時解散(予定)  
**参加対象** 各教区・直属学生会リーダー層(高校生から大学生の年齢層)  
**参加定員** 150名(各教区・直属3名まで)  
 尚、定員になり次第締め切りますので、予めご了承ください。

※学生会が結成されていない直属も是非ご参加ください。

**参加費** 1,500円 ※当日にお持ちください。

**宿 舎** 本部第2母屋

**持 ち 物** 参加費、保険証、筆記用具、ハッピー、傘、宿泊に必要なもの

**内 容** 第55期天理教学生会活動方針の議決、練り合い、講話、レクリエーション等

※全日程の参加を原則としますが、やむを得ず遅刻、早退、中抜けする必要がある場合は、必ず事前にご相談ください。

※申込書をFAXで提出される場合は、FAX送信後に学生担当委員会事務局までご連絡ください。

※申込書をFAXで提出される場合は、学生担当委員長の印鑑を押した原本を当日お持ちください。

## Happist 個人購読のご案内

学生層のための月刊誌〈Happist〉は、お道の教えを正確に伝え、教理を求める手掛かりとなるだけでなく、学生会活動・各行事の情報を満載しています。学生生活をより充実させる為に〈Happist〉を購読してみませんか。

### 個人購読とは？

学生担当委員会から学生本人の下宿先などへ、直接〈Happist〉を発送するものです。簡単な手続きで申し込みができる〈Happist〉個人購読がオススメ！

### 要項

**販売期間：** 購読開始月から同年度3月号まで。  
 (年度ごとに更新の手続きが必要になります。2月号発送時に「更新手続き用紙」を同封いたします)

**申込方法：** 申込用紙に必要事項を記入し、学生担当委員会事務局に直接、又は郵送、FAXにてお申し込みください。料金のお支払い確認後、発送致します。

**支払方法：** 下記の購読料金を参照の上、学生担当委員会事務局に直接お支払いいただくか、事務局よりお渡しします振込用紙での郵便振込となります。

### 購読料金

▼ひと月 1冊(100円)+送料80円=180円

4月号～	5月号～	6月号～	7月号～	8月号～	9月号～	10月号～	11月号～	12月号～	1月号～
2,160円	1,980円	1,800円	1,620円	1,440円	1,260円	1,080円	900円	720円	540円

※上記は購読開始月から3月号までの料金です。

※同一お届け先に3冊までまとめて発送できます。(3冊以上は個人購読係までお問い合わせください)

## Happist 5月号 予告

# 春の学生おぢばがえり

真柱様お言葉

### 連載

・教理コーナー  
**おやじの小言!?** 山中 修 (大典分教会長)

・信仰エッセー  
**明日の地図ひろげて** 平川 寛行 (本駿河台分教会長)

・発見がある 心が踊る  
**私立はっぴす学園** 渡辺 一平

・マンガ  
**ココロtravel** ニシカワヨウコ

明日につながる学生マガジン  
**Happist 5**

個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。